



2018年10月25日(木)～

2018年11月10日(土)の活動

○ 女性部会

10月26日(金) 金沢市

平成30年度第3回総合対策委員会女性部会をホテル金沢にて開催し、浅野部会長、森田副部会長をはじめ、8名の委員が出席した。

7月に実施した「政府要望活動」に関する報告に続き、「今後の女性部会としての取組み」について活発に議論を行った。

活動の柱である「ひとり親家庭の北陸移住」を進めていくにあたり、ひとり親の生の声を聞き、どういったサポートを必要としているのかを確認する必要があることから、まずは、ひとり親との「交流会」の開催に取り組んでいくことを確認した。(担当:鳥山)

○ 第45回北陸地方経済懇談会

10月30日(火) 金沢市

(一社)日本経済団体連合会との第45回北陸地方経済懇談会を、ホテル日航金沢で開催した。『北陸の持続的な発展をめざして～GDP600兆円経済の実現に向けて～』を基本テーマに、経団連から中西宏明会長はじめ約40名、当連合会から約140名が出席した。

懇談会の開会挨拶で、久和会長は北陸の持続的な発展の為には、人材の地方定着・地方回帰により定住人口を増やすこと、北陸新幹線の大阪までの早期全線整備を始めとした交通インフラの整備促進が必要であると訴えた。

続いて経団連中西会長は、さまざまな社会課題解決を図るため、経団連としてSociety 5.0を中核とする成長戦略の強化に取り組むと述べた。また、働き方改革による生産性向上や地方創生などの取組みも成長戦略には欠かせないと指摘した。

懇談会では、「社会基盤の整備促進と観光振興」のテーマのもと、北陸新幹線の大阪までの早期開業、電力の安定供給確保、訪日外国人観光客の誘客等の広域観光振興に関して意見交換が行われた。

「地域力の向上と産業振興」のテーマでは、人材の地方定着・地方回帰による定住人口の増加、Society5.0の実現、アジア諸国との経済交流について意見交換が行われた。また、経団連と昨年から進めているマッチング事業について、進捗状況およびワークショップの開催など今後の展開が紹介された。

懇談会終了後の記者会見で、中西会長は北陸新幹線について「経済効果は計画時よりも大きいという実感を持っている。敦賀以西が新幹線でつながることには大きなインパクトがあるだろう。政府にも前向きに取り組んでもらいたい。」と述べた。(担当:橋本)

○ 北陸技術交流テクノフェア

10月25日(木)・26日(金) 福井市

福井県産業会館で北陸技術交流テクノフェアが開催された。北経連ブースでは、産業振興活動の取り組みを紹介するとともに、「次世代ロボット研究会」(事務局:北経連)メンバーである金沢工業大学:鈴木研究室のチェアスキー体験や、福井工業大学:原口研究室のリハビリ促進等の研究内容を紹介した。(担当:小林)

○ マatchingハブ北陸

10月31日(水)・11月1日(木)金沢市

ホテル日航金沢で、北陸先端科学技術大学院大学主催(北経連後援)の「Matchingハブ北陸」が開催された。北陸地域の産学官金連携のために講演、展示などが行われ、北経連では、産業振興活動の取り組みや冊子「北陸のシェアトップ150」などを紹介した。(担当:小林)

○ メッセナゴヤ

11月7日(水)～10日(土) 名古屋市

ポートメッセなごやにて開催されたメッセナゴヤ2018に、「北陸地域企業誘致連絡会」(北経連・富山県・石川県・福井県・北陸電力で構成)として出展し、北陸地域での企業立地の優位性のPRを行なった。展示会全体で61,952名が入場し、364名(前回251名)と多くの方から企業誘致に関するアンケートの回答をいただいた。(担当:小林)

お知らせ

○ 冬季の省エネルギーの取組について

経済産業省では、11月～3月において冬季の省エネルギーの取組を促進するキャンペーンへの協力を呼びかけています。下記HPをご覧ください。
<http://www.meti.go.jp/press/2018/10/20181023008/20181023008.html>

※ 当連合会では、新規会員を募っております。会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。(Tel076-232-0472)